

NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ
InterSec

N8100-800

Express5800/MW300a

ユーザーズガイド

商標について

ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。UNIXはThe Open Groupの登録商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。DatalightはDatalight, Inc.の登録商標です。ROM-DOSはDatalight, Inc.の登録商標です。Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional Edition operating systemの略称です。Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server operating system version 3.51/4.0、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemの略称です。Windows 98はMicrosoft® Windows® 98 operating systemおよびMicrosoft® Windows® 98 Second Edition operating systemの略称です。Windows 95はMicrosoft® Windows® 95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のもので、実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

本製品で使用しているソフトウェアの大部分は、BSDの著作とGNUのパブリックライセンスの条項に基づいて自由に配布することができます。ただし、アプリケーションの中には、その所有者に所有権があり、再配布に許可が必要なものがあります。本製品で使用しているオープンソースコードについては弊社サイト「<http://www.express.nec.co.jp/linux/>」をご参照ください。

<本装置の利用目的について>

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっておりません。

ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお願いいたします。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
3. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関する不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に当社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚した場合には、速やかに当社相談窓口までご連絡ください。

当社相談窓口 ファーストコンタクトセンター
電話番号 03-3455-5800

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると電波妨害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波適合品

この装置は経済産業省通知の家電、汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

レーザ安全基準について

この装置に標準で搭載されているCD-ROMドライブは、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1に適合しています。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるように、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意 - 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています(本体に印刷されている場合もあります)。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告

指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



注意

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。



	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け)

(ユーザーズガイドでの表示例)

注意を促す記号	危険に対する注意の内容	危険の程度を表す用語
	指定以外のコンセントに差し込まない 電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。	注意

本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--

安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項



警告



人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。



煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにPOWERスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



針金や金属片を差し込まない

通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



規格以外のラックで使用しない

本装置はEIA規格に適合した19型(インチ)ラックにも取り付けて使用できます。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本装置が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。



指定以外の場所で使用しない

本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。

本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付のマニュアルまたは保守サービス会社にお問い合わせください。

 **注意**



海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

注意



1人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。



荷重が集中してしまうような設置はしない

ラック、および取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。



1人で部品の取り付けをしない

ラック用のドアやトレーなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。



複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。



定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項



警告



ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。



注意



指定以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電源の壁付きコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のような行為を行わないでください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り返さない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを束ねない。
- 電源コードをステーブラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードにものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

注意

指定以外の場所に設置しない

本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないください。火災の原因となるおそれがあります。



- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。

落下注意



本装置をラックに取り付けるまたは取り外す際は、底面をしっかりとってください。ラック取り付けブラケットには、落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機構がないため装置をラックからすべて引き出すと、装置がラックから外れて落下してけがをするおそれがあります。

装置を引き出した状態にしない



装置を引き出した状態のまま作業をしないでください。ラック取り付けブラケットには落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機構がないため作業中に装置が脱落してけがをするおそれがあります。

カバーを外したまま取り付けない



本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けしないでください。装置内部の冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電の原因となることがあります。

指を挟まない



ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。

プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない



インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、NECが指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。



また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



リチウム電池を取り外さない

本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



高温注意

本装置の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない










電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



コネクタカバーを取り付けずに使用しない






内蔵デバイスと接続していない電源ケーブルのコネクタにはコネクタカバーが取り付けられています。使用しないコネクタにはコネクタカバーを取り付けてください。コネクタカバーを取り付けずに使用すると、コネクタが内部の部品に接触して火災や感電の原因となります。

運用中の注意事項

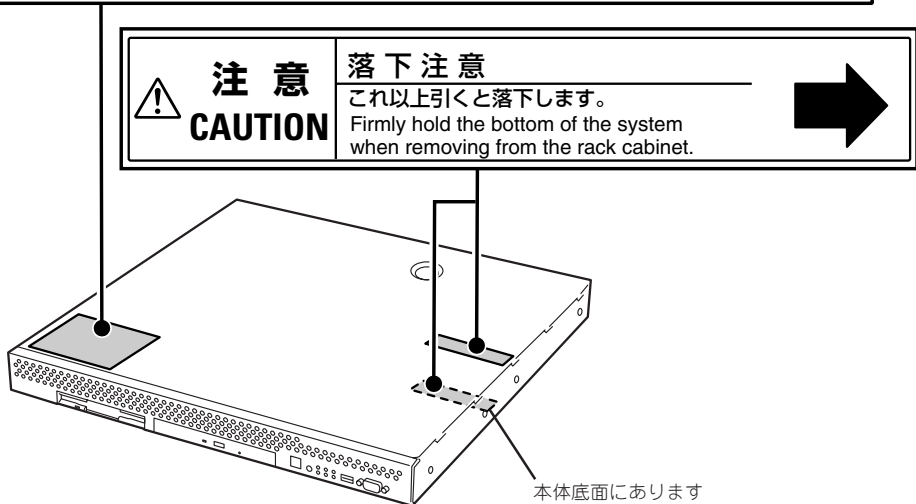
 注意	
  	<p>雷が鳴ったら触らない</p> <p>雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。</p>
 	<p>ペットを近づけない</p> <p>本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に入って火災や感電の原因となります。</p>
	<p>CD-ROMドライブのトレイを引き出したまま放置しない</p> <p>引き出したトレイの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレイにぶつかりけがをするおそれがあります。</p>
	<p>近くで携帯電話やPHS、ポケットベルを使わない</p> <p>本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。</p>
	<p>動作中に装置をラックから引き出さない</p> <p>本装置が動作しているときにラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。</p>

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが表示されています(警告ラベルは本体に印刷されているか、貼り付けられている場合があります)。これは本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れている、本体に印刷されていないなどしているときは販売店にご連絡ください。

⚠ 注意 CAUTION	
オプションの取付け、取外し時は電源プラグをコンセントから抜き、外部装置と接続しているケーブルを外して下さい。 Disconnect all AC power cords from both system and external peripherals prior to installing/removing options.	  電源プラグを抜く 感電注意
ボード及びオプション機器の接続の際は、必ずユーザースガイドを参照し、正しく接続して下さい。 誤った接続は、故障や火災の原因となります。 Refer to the "User's Guide" when option board or peripherals are installed. Incorrect installations may result in damage to the system and lead to accidents.	
装置の持ち上げ、移動の際は、装置の底面をしっかりと持って持ち上げて下さい。 Firmly hold the bottom of the system when required to lift and carry the system.	
高温になるコンポーネントがあります。十分に冷えてから触れるようにして下さい。 As some components may become very hot during system operation, give ample time to allow cooling as well as use precaution when handling internal components immediately after powering down.	

⚠ 注意 CAUTION	落下注意
	これ以上引くと落下します。 Firmly hold the bottom of the system when removing from the rack cabinet.



本体底面にあります

取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。

- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本体の電源をOFFになっていることを確認し、電源コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本体のアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本体の電源を一度OFFにした後、再びONにするときは10秒以上経過してからにしてください。
- 本体を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本体を清掃してください(清掃は7章で説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。
- CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクにつきましては、CD再生機器における再生の保証はいたしかねます。
- PCIスロットに搭載したオプションのLANボードに接続したケーブルを抜くときは、コネクタのツメが手では押しにくくなっているため、マイナスドライバなどを使用してツメを押し抜いてください。その際に、マイナスドライバなどがLANポートやその他のポートを破損しないよう十分に注意してください。
- オプションは本体に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本体に取り付けや接続ができて正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションはNECの純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。

**ヒント**

保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

はじめに

このたびは、NECのInterSecシリーズをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品は、インターネットビジネスに欠かせないファイアウォール機能、キャッシュ機能、メールサービス、Webサービス、ウイルスチェック機能など、各機能をそれぞれの専用ハードウェアに集約したNECのInterSecシリーズの1つです。

コンパクトなボディに高性能と容易性を凝縮し、堅牢なセキュリティ機能が安全で高速なネットワーク環境を提供いたします。

また、セットアップのわずらわしさをまったく感じさせない専用のセットアッププログラムやマネージメントアプリケーションは、お客様の一元管理の元でさらに細やかで高度なサービスを提供します。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。




本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店、またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザーズガイドは、InterSecシリーズのホームページからダウンロードすることができます。

<http://nec8.com/>

本書の構成について

本書は7つの章から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。なお、巻末には付録・用語解説・索引があります。必要に応じてご活用ください。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

- 第1章 InterSecシリーズについて** 本製品の特長や添付のソフトウェアについて説明します。
- 第2章 ハードウェアの取り扱いと操作** 本体の設置や接続、各部の名称などシステムのセットアップを始める前や運用時に知っておいていただきたい基本的なことがらについて説明しています。
- 第3章 システムのセットアップ** 専用ツールによるセットアップなど装置を使用できるまでの作業と注意事項を説明します。再セットアップの方法についても説明しています。
- 第4章 システムの管理** クライアントマシンからWebブラウザを使って本装置にアクセスする方法やWebブラウザ上に表示される「Management Console」を使ったシステムの設定や状態のチェックの方法について説明します。
- 第5章 保守・管理ソフトウェア** 本体に添付の「保守・管理ツールCD-ROM」の使い方とCD-ROMにあるツールやアプリケーションの使用方法について説明します。また、本体添付の「保守・管理ツールCD-ROM」および「バックアップCD-ROM」にそれぞれ収納されている「ESMPRO/ServerManager」と「ESMPRO/ServerAgent」の使用方法については、それぞれのCD-ROMに格納されているオンラインドキュメントをご覧ください。
- 第6章 システムの拡張** 内蔵オプションの取り付け/取り外し方法と、BIOSの設定内容の確認と変更方法について説明します。
- 第7章 故障かな?と思ったときは** 「故障かな?」と思ったときは、装置の故障を疑う前に参照してください。また、この章では故障を未然に防ぐための保守のしかたやInterSecシリーズをご利用のお客様に提供しているサービスについても紹介しています。

付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成部品チェックシートを参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスク、またはCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

● 本体について

第三者へ譲渡(または売却)する場合には、使用上のご注意を一緒にお渡しください。



ハードディスク内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクに保存されている大切なデータ(例えば顧客情報や企業の経理情報など)が第三者へ漏洩することのないようにお客様の責任において確実に処分してください。

オペレーティングシステムのコマンドなどを使用して削除すると、見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏洩された場合、その責任は負いかねます。

● 添付のソフトウェアについて

添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本体およびハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROMやオプションのボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



重要

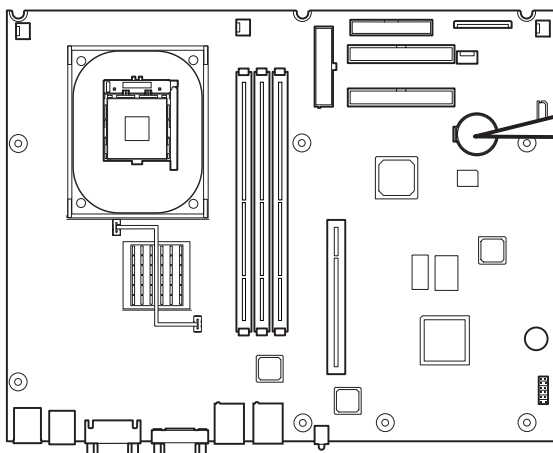
- 本体のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄(および交換)についてはお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。
 - ハードディスクやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど)に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要です。
- 本体の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(冷却ファン、本体内蔵のバッテリー、内蔵CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブなど)。装置を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。



リチウム電池を取り外さない


本装置内部にはリチウム電池が取り付けられています。リチウム電池を取り外さないでください。リチウム電池は火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、リチウム電池の寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



マザーボード

目次

 使用上のご注意 - 必ずお読みください -	iii
安全にかかわる表示について	iii
本書、および警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	v
一般的な注意事項	v
ラックの設置・取り扱いに関する注意事項	vii
電源・電源コードに関する注意事項	viii
設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項	ix
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	x
運用中の注意事項	xi
警告ラベルについて	xii
取り扱い上のご注意 - 装置を正しく動作させるために -	xiii
はじめに	xv
本書について	xvi
本文中の記号について	xvi
本書の再購入について	xvi
本書の構成について	xvii
付属品の確認	xviii
第三者への譲渡について	xix
消耗品・装置の廃棄について	xx

1 InterSecシリーズについて

InterSecシリーズとは	2
特長と機能	4
メールサーバ機能	4
Webサーバ機能	5
その他の機能	5
添付のディスクについて	6

2 ハードウェアの取り扱いと操作

設 置	8
卓上への設置	8
ラックへの設置	10
取り付け部品の確認	12
必要な工具	12
取り付け手順	13
取り外し手順	19

各部の名称と機能	21
本体前面	21
本体背面	22
本体内部	22
ランプ表示	23
POWERランプ	23
STATUSランプ	23
DISK ACCESSランプ	23
UID(ユニットID)ランプ	23
ACT/LINKランプ	24
アクセスランプ	24
100TXランプ	24
接続について	25
基本的な操作	27
フロントベゼル	27
POWERスイッチ - 電源のON/OFF/再起動 -	28
フロッピーディスクドライブ	29
フロッピーディスクのセット/取り出し	29
フロッピーディスクの取り扱いについて	29
CD-ROMドライブ	31
CD-ROMのセット/取り出し	31
取り出せなくなったときの方法	32
CD-ROMの取り扱いについて	33
UIDスイッチ - 本体の確認 -	34

3 システムのセットアップ

初めてのセットアップ	36
ソフトミラー構成の設定	36
ハードディスクの設定	36
初期導入設定用ディスクの作成	37
初期導入設定ツールの実行と操作の流れ	37
各入力項目の設定	38
システムのセットアップ	42
セットアップの手順	42
セットアップに失敗した場合	43
ロードバランスクラスタ構成のセットアップ	44
フェイルオーバークラスタ構成のセットアップ	50
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ	56
システム情報のバックアップ	56
セキュリティパッチの適用	56
管理PCのセットアップ	57
再セットアップ	58
ハードディスクの初期化	58
保守用パーティションの作成	58
ソフトミラー構成の設定	58
システムの再インストール	59
初期導入設定用ディスクの作成	59
システムのセットアップ	60
ロードバランスクラスタ構成のセットアップ	60
フェイルオーバークラスタ構成のセットアップ	60
ESMPRO/ServerAgentのセットアップ	60
セキュリティパッチの適用	60

4 システムの管理

Management Consoleが提供するサービス	62
利用者の権限	62
Management Consoleのセキュリティモード	63
システム管理者のメニュー	64
システムの構築・管理にあたって	64
POP3サーバ機能	64
IMAP4サーバ機能	64
WEBMAILサーバ機能	64
WWWサーバ機能	65
cgiプログラムの利用	66
仮想ドメイン機能	67
仮想ドメインのユーザーアカウント	68
Management Consoleへのログイン	69
レベル0の場合	69
レベル1の場合	69
レベル2の場合	69
ドメイン情報	71
ドメイン情報の編集	71
仮想ドメイン情報追加	72
SSL - セキュアなWebサーバの設定 -	73
Webサーバ	75
基本設定	75
MIMEタイプの設定	75
メールサーバ	76
メーリングリスト	76
静的配送	79
メール受信/転送ルールの設定	79
サービス	81
Webサーバ(httpd)	82
ネームサーバ(named)	82
アドレス帳(ldap)	91
ファイル転送(ftp)	92
UNIXファイル共有(nfsd)	92
Windowsファイル共有(smbd)	93
時刻調整(ntpd)	93
ネットワーク管理エージェント(snmpd)	93
サーバ管理エージェント(wbmcmsvd)	93
リモートシェル(sshd)	93
リモートログイン(telnetd)	93
パッケージ	94
オンラインアップデート	94
手動インストール	95
パッケージの一覧	96
システム	97
システム停止/再起動	97
状態	98
その他	99
複数サーバ管理	110
サーバー一覧	110
sendmail.cfのカスタマイズについて	112

ドメイン管理者のメニュー	113
Management Consoleへのログイン	113
レベル0の場合	113
レベル1の場合	113
レベル2の場合	114
管理者情報	115
管理者情報の追加	115
ドメイン管理者情報変更/ドメイン管理者の削除	116
ユーザ情報	118
新規ユーザーの追加	118
ユーザーの一括登録/一括削除	119
ユーザ情報既定値	121
ユーザー情報の変更/ユーザーの削除	122
Webサーバ	123
基本設定	123
ディレクトリ設定	123
仮想パス設定	124
Webドキュメントの公開方法	124
一般ユーザーのWebページ	125
メールサーバ	126
システム	128
一般ユーザーのメニュー	129
Management Consoleへのログイン	129
レベル0、1の場合	129
レベル2の場合	130

5 保守・管理ソフトウェア

保守・管理ツール	134
起動方法	134
メインメニュー	135
マスターコントロールメニュー	138
オフライン保守ユーティリティ	139
オフライン保守ユーティリティの起動方法	139
オフライン保守ユーティリティの機能	140
システム診断	141
システム診断の内容	141
システム診断の起動と終了	141
MWA - Management Workstation Application -	144
通信方法	144
MWAの機能	144
動作環境	146
MWAのインストール	146
コンフィグレーション	147
リモートコンソール接続	147
ESMPRO	151
エクスプレス通報サービス	152

6 システムの拡張

内蔵オプションの取り付け	154
安全上の注意	154
静電気対策について	155
取り付け/取り外しの準備	156
卓上に設置している場合	156
ラックに設置している場合	157
取り付け/取り外しの手順	159
ハードディスク	159
DIMM	164
PCIボード	167
BIOSの設定と確認	171
起 動	171
キーと画面の説明	172
操作手順	173
システム内の構成情報をリセットする	173
メモリの状態を確認/変更する	174
POWERスイッチ機能を無効にする	175
終了方法	176
ハードウェア構成情報の復旧	177
CMOSのクリア - コンフィグレーションジャンパスイッチ -	177
BIOS設定値のリロード	179

7 故障かな?と思ったときは

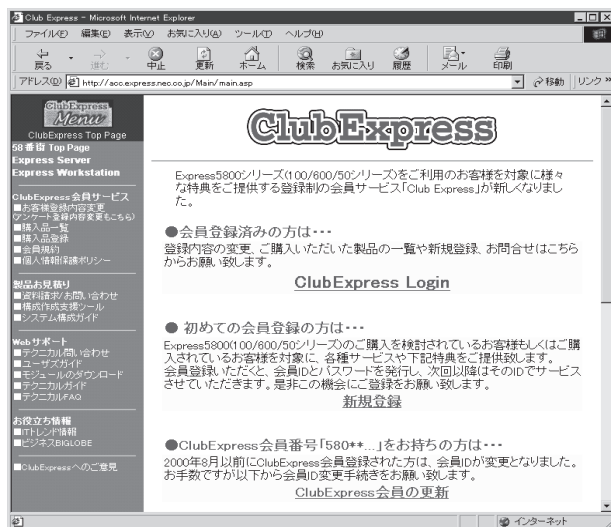
日常の保守	182
アラートの確認	182
ステータスランプの確認	182
バックアップ	182
クリーニング	183
本体のクリーニング	183
CD-ROMのクリーニング	184
障害時の対処	185
障害箇所の切り分け	185
エラーメッセージ - 電源ON後のビープ音 -	186
トラブルシューティング	187
初期導入時	187
運用時	188
初期導入設定用ディスクの作成について	191
保守・管理ツールについて	192
マスターコントロールメニューについて	192
ESMPROについて	194
システム情報の確認	194
ハードウェア構成情報の復旧	194
移動と保管	195
ユーザーサポート	196
保証について	196
修理に出される前に	197
修理に出される時は	197
補修用部品について	197

保守サービスについて	198
ハードウェアメンテナンスサービス	198
オプションサービス	199
情報サービスについて	200
付録A 仕様	201
付録B 保守サービス会社網一覧	202
用語解説	207
索引	211

ユーザー登録をしましょう！

NECでは、製品ご購入のお客様に「Club Express会員」への登録をご案内しております。添付の「お客様登録申込書」に必要事項をご記入の上、エクスプレス受付センターまでご返送いただくか、またはClub Expressのインターネットホームページにてご登録ください。

<http://club.express.nec.co.jp/>



「Club Express会員」のみなさまには、ご希望によりExpress5800シリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスを、無料で提供させていただきます。サービスの詳細はClub Expressのインターネットホームページにて紹介しております。ぜひ、ご覧ください。

オンラインドキュメントについて

添付の「保守・管理ツールCD-ROM」には次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- ESM/ServerManager Ver.4.0インストールガイド
- MWAファーストステップガイド

添付の「バックアップCD-ROM」にはオンラインドキュメントとして「ESM/ServerAgent Ver.3.9 (Linux版)」の説明書が収められています。必要に応じて参照してください。

バックアップCD-ROM:/nec/Linux/esmpro/doc/users.pdf